

# 木造住宅の耐震工事紹介

## 診断方法や費用など

福岡で見学会

木造住宅の耐震補強工事への理解を深めてもらう見学会が28日から、福岡市内で始まった。熊本地震の発生以降、主催している市耐震推進協議会には問い合わせが急増しており、同協議会は「改めて地震への備えを見直してほしい」と呼びかけている。

市内の建設業者でつくる同協議会は、市と連携して住宅の耐震化を進めている。実際現場を見て、耐震への意識を高めてもらうため見学会を企画した。

市建築物安全推進課などによると、1981年5月以前に建てられた木造戸建て住宅を中心に、市内では

壁の耐震補強について説明する福岡市耐震推進協議会のスタッフ(右)



### 熊本地震以降、問い合わせ急増

約5万戸の耐震性が不十分という。

このため、市は81年5月以前に建てられた木造住宅の耐震改修工事をする際、70万円を上限に補助金を出す制度を設けている。同協議会も、2000年5月までに着工された住宅を対象に30000円で耐震診断を行っている。熊本地震の発生後、申し込みが急増。例年、年間200件程度だったが、4月18日からの1か月ですでに申し込みは約2500件に上っているという。

見学会の現場となったのは、福岡市東区三吉にある築39年の木造2階建て住宅。1階部分の壁の一部をはがして耐震パネルを設置したほか、基礎部分を鉄筋コンクリートで補強した。見学会では、協議会のスタッフが、実際に補強した部分を示しながら、耐震診断の方法や補強工事の内容、費用などについて説明した。

東区松島の秋口恵美子さん(62)は「熊本の被害を見て、家を守りたいとの思いが強くなり、耐震化を意識するようになった。現場で専門家から詳しい話が

聞けてよかった」と話していた。

熊本地震の被災地に足を運んだという同協議会の白水秀一会長(62)は「地震でつぶれない家を増やさないといけないという思いがさらに強くなった。補強工事費の目安は約150万円前後。まずは耐震診断だけでも受けて、自分の家の状況を確認してほしい」と話している。

見学会は6月4、5日の午前10時〜午後4時にも開

く。問い合わせは、同協議会(092・724・7744、平日の午前10時〜午後5時)へ。

市主催の耐震セミナーが7月4日、福岡市中央区の市健康づくりサポーターセンターあいわで開かれる。耐震診断や補強工事の方法などについて解説する。午後1時半〜4時半。申し込み、問い合わせは、市建築物安全推進課(092・711・4580)へ。